

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 教育研修部 西澤 俊紀

【研究責任者】

聖路加国際病院 教育研修部 西澤 俊紀

腰椎圧迫骨折患者さんにおける 経皮的椎体形成術と保存的加療の比較研究

1. 研究の対象

2007年1月から2017年12月までに腰椎圧迫骨折の診断で緊急入院された患者さん

2. 研究の目的・方法

当院での経皮的椎体形成術と保存的加療を行った患者さんの自宅退院率、入院期間、入院中の合併症の有無、骨折による再入院率を比較します。

なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

*経皮的椎体形成術：針を刺して骨折した椎骨にセメントを注入する手術です。

*保存的加療：鎮痛薬などを使用しながらベッドで安静に過ごしていただく治療です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、

治療について（経皮的椎体形成術の有無）

常用薬について（常用薬の数、ネキシウム、ステロイド、骨粗鬆症治療薬、抗菌薬）、

社会背景について（生活保護の有無、家族構成、施設入所の有無）

ケアについて（喀痰吸引の有無、栄養の摂取方法、リハビリの有無）

併存疾患について（心筋梗塞、心不全、末梢血管疾患、脳血管障害、認知症、慢性肺疾患、膠原病、消化性潰瘍、慢性肝炎、肝硬変、糖尿病、片麻痺、腎機能障害、悪性腫瘍（固形腫瘍、血液腫瘍、転移性腫瘍）、AIDS）、骨粗しょう症の既往

ADLについて

胸腰椎圧迫骨折について（発症日、入院日、骨折部位、新規椎体骨折の数、陳旧性椎体骨折の数）

NRS pain score

入院日数、骨折による再入院の有無（再入院までの期間）、入院中の合併症（院内肺炎、尿路感染、深部静脈血栓、肺塞栓症、せん妄、褥瘡、セメント漏れ、椎体炎などの手技に伴う感染症）、入院治療費